

保護者の皆様

吹田市立山田第三小学校
校長 花田 郁子

学校教育診断アンケートの結果について

平素より、本校の教育活動推進にご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
さて、昨年12月に実施いたしました学校教育診断アンケートにおいては、254名の保護者の方からの回答をいただきました。ご協力いただきましてありがとうございます。
アンケート集計結果、「そう思う」「どちらかというと思う」を肯定的な評価とし、概ね80%以上を超えるものを「概ね良好」と捉え、80%未満のものについては、改善が必要なものとしてまとめました。
結果は、全教職員で共有し、学校教育活動、学校運営において改善に努めてまいります。
紙面の都合上、結果の詳細については本校ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

児童におけるアンケート結果のまとめ<低学年>

- 低学年のアンケート結果においては、13項目中11項目で肯定的な評価が80%を超えていました。特に「運動会などの行事は楽しい」という項目では98%が肯定的な回答をしていました。
- 「学校には相談しやすい先生がいる」という項目では、92%が肯定的な回答をしていました。昨年と比較すると16ポイントの増になっていました。
- ▽「クラスでは、思っていることが言いやすい」「授業でわからないことについて、たずねやすい」という質問項目で肯定的な回答がそれぞれ75%、78%と低くなっていました。昨年度と比較しても14～16ポイント減少しています。

今年度は、新型コロナ感染拡大による休校中に進級、クラス替え、新しい担任で学年が始まるという事態になってしまい、クラスになじむのに時間がかかった児童もいたことと思います。
また、感染症対策で窮屈な学校生活を送らなければならなかった中で、やはり行事は子どもたちにとっては楽しみで必要なものだとことを改めて感じました。
感染対策を行いながら、児童が楽しんで参加できる学校行事の在り方を考えていきます。

児童におけるアンケート結果のまとめ<高学年>

- 高学年のアンケート結果においては、13項目中10項目で肯定的な評価が80%以上という結果でした。
- 「外であそんでいる、という項目について肯定的な回答をしている児童は、72%という結果でしたが、昨年と比較すると10ポイント増となっていました。
- 「学校に行くのが楽しい」という項目で肯定的な回答が91%と、前年度から8ポイント増となっていました。
- 「地震や火事の時どうしたらよいか教えてもらっている」ではほぼ100%近い児童が肯定的な回答をしていました。
- ▽「クラスでは、思っていることを言いやすい」「学校には相談しやすい先生がいる」という項目での肯定的な回答をしている児童は、それぞれ70%と78%でした。

低学年と同じように、コロナ禍で学校生活や行事の制限が多くなっている中で、例年以上に行事を楽しみにしていたり、外で遊ぶ機会が増えたように思います。
新しい生活様式での学校生活や、毎日の感染対策などに取り組むことや、楽しみにしていた行事が中止になることなど、いろいろな場面で我慢しなくてはいけない中でも、それぞれの項目で肯定的な回答をしていることから、子どもたちなりに現状を受け入れて、頑張っているのだと感じます。
しかし、しんどさを自分から発信できない児童に対しては、日々の教室での様子や友達関係の変化など丁寧に観察し、見逃さない取り組みをしていきます。

保護者におけるアンケート結果のまとめ

○17項目の学校運営・教育活動に関する質問のうち、肯定的な回答が80%以上となっていたのは12項目ありました。

特に、「児童や地域の実態にあった教育活動をしている」「学級活動を通してクラスの仲間作りができて」「台風や地震などの非常時の対応についてマニュアルが示されている」「安全対策・安全指導を行っている」という項目では肯定的な回答が90%を超えていました。

○「学校はいじめや差別のない学校づくりに取り組んでいる」では肯定的な回答は77%、「学校は問題行動防止のため早期指導や適切な対応を行っている」では肯定的な回答は71%とどちらも昨年度と同数でした。

▽「学校は問題行動防止のため早期指導や適切な対応を行っている」「人権意識や人権感覚を高める指導を行っている」で、わからないという回答が20%を超えていました。

▽昨年に比べて、「学校は、施設・設備などが点検されており、安全な学校環境が整っている」「学校は、保護者や地域と連携し、信頼される学校づくりをしている」「学校は、保護者や児童に向けて、相談しやすい環境を整え、相談活動が実施されている」という項目でわからないと回答されている率がやや増えていました。

いくつかの項目では、新型コロナ感染拡大により、学校の行事や、参観懇談が中止になり、学校での教育活動の内容を理解していただく機会がなかったことが、回答に影響していると思われます。

しかし、学級での仲間作りの取り組みや、安全指導、学習の評価については、肯定的な回答も多く、お子さんから聞く話や、様子からご理解いただけていることがわかりました。

学校だより、学年・学級だより、また学校のホームページなどで、学校での活動の様子をより丁寧に発信していく必要があると感じています。

ただ高校や大学のように日常的に動画を配信するには環境が整っておらず、また個人情報の扱いにおいて制限があり、今後の課題と考えます。

今年は、いじめに関して吹田市全体でGRE-ENプロジェクトを推進しています。

学校としての取り組みの内容については、学校だよりお知らせしていますが、実際にいじめ予防の授業を参観していただく機会があればよかったですと思います。

いじめ対応や問題行動等への対応については、保護者の方の理解をいただきながら、担任・学年だけでなく、校長、教頭、首席、生徒指導主担者が対応に当たり、継続的に指導を行っていくなど、学校全体で対応していきます。

コロナ禍ではありますが、台風・地震はいつ発生するかわかりません。訓練はできませんでしたが、引き渡し訓練や、台風・地震発生時の対応、緊急下校時の対応についての保存文書を配布させていただきました。そのことについては、肯定的な回答も多く、学校と保護者の方が信頼関係をもって対応していけると感じています。

記述事項のまとめ

昨年度と比較し、ご意見の数は減少していました。今年度は、コロナ禍にあつて、新しい生活様式の中での学校教育活動となりました。そのことについてのご意見がありました。

◇子どもが学校であったことをあまり話さないし、参観にもいけなくて子どもの様子がわからない。もっと頻回にHPで学校の様子をブログアップしたり、学級通信を出したりして、子どもの様子を知らせて欲しい。子どもの様子や発表会の様子を動画配信して欲しい。

学校からの文書がわかりにくかったり、子どもがランドセルに入れっぱなしで届かなかつたりするので、メールを活用してほしい。

◇コロナ禍であっても、感染対策をして行事をして欲しかった。工夫し手間をかければできたのではないかな。

毎年恒例の行事や取り組みができなくて子どもも保護者もどうしてと納得できなかった。子どもが頑張ったことを發揮する場を作ってほしい。

◇放課後、運動場で遊んだり、宿題をやったりできるようにして欲しい。太陽の広場で宿題をさせて欲しい。

◇体育の時、体操服だけでは寒い。柔軟に対応して欲しい。

◇集団下校時に校区内の危険箇所や安全な登下校のしかたを指導して欲しい。

いただいたご意見については、全教職員で共有し、改めて学校として実施可能かどうか、必要性も含め検討いたします。また、学校としてすでに取り組んでいることもありますので、学校便り、学年便り等で説明させていただきます。

***各質問項目ごとの集計結果はグラフにしてHPの掲載しておりますのでご覧ください。**